

将来計画検討専門委員会 報告と議論

大内正己 (NAOJ/東大)

メンバー

秋山正幸、井上昭雄、河原創、住貴宏、
左近樹、高田昌広、成田憲保、
松田有一、金田 英宏、小山 佑世

活動

2022年

- 10/24: 第13回ミーティング
- 11/21: 第14回ミーティング
- 12/16: 第15回ミーティング
- 1/25: 第16回ミーティング
- 2/10: 光赤天連合同ミーティング
- 2/24: 第17回ミーティング

*** 他、委員会内において、メールによる議論多数

議事録は

http://gopira.jp/gopira_future/

主な議論・活動

光赤天連ロードマップ(地上・衛星)作成に向けた取り組み

- 他コミュニティのロードマップの情報収集
 - 3名の有識者による講演と質疑・議論(各1時間)
 - 満田氏(国立天文台)
 - 都丸氏(国立天文台)
 - 中澤氏(名古屋大学)
- ロードマップの枠組み作りと議論
- 光赤天連将来計画endorsementの議論(運営委員会と合同)

今後の予定

- 光赤天連ロードマップの枠組み作りを継続
- 今年9月の光赤天連総会での議論
 - 光赤天連ロードマップの枠組み確定
 - 10月以降、ロードマップ作成へ

光赤天連ロードマップの枠組み 案

(委員会での議論中)

ロードマップの目的

- 光赤天連で目指す大きな科学目標と計画を内外に示す
 - 学術会議 未来の学術振興構想や文科省ロードマップなどへの回答の基盤にする
- 光赤天連における多様な科学目標と計画を促し支援する
 - 中小規模計画を支援し、規模を問わず将来に向けた萌芽的な計画を育む

適用範囲

- 光赤天連に関連する計画全て
 - 規模やタイムスケールを問わない
 - 計画実行段階（望遠鏡であればファーストライト後）にあるものは除く。ただし、必要に応じてロードマップに載せることも可能とする

ロードマップの構成

- 科学目標のもと、光赤天連に関係する計画について、以下の2つがまとめられる
 - 1) 光赤天連に大きな影響を与える大型計画で、優先順位を明示すべきもの
 - 2) 1)に当てはまらないあらゆる規模の計画で、優先順位をつけないもの

ロードマップ作成の枠組みと流れ

- 作成頻度：3年に1度
 - 文科省ロードマップ（学術会議）と時期を合わせる
 - 緊急対応が必要な場合は光赤天連「endorsement」で対応する？
 - 20X0年代の光赤外線研究の冊子との関係は？
- ロードマップ作成者
 - 男女、老壮青（30代、40代、50代）、研究分野（特に技術がわかる人／ミッションの経験がある人など）、でバランスをとる
 - 役職指定枠：国立天文台（1名）、宇宙科学研究所（1名）
 - ロードマップ作成者をどう組織する？

ロードマップ作成の基準

1) 大型計画で、優先順位を明示すべきもの

- － 以下5項目で評価し、時系列の境界条件も合わせて順位を決定する
 1. 科学価値／費用（費用に対する科学価値）
 2. 実現可能性
 3. コミュニティーの大きさ
 4. 科学や技術の将来性
 5. 国際競争力
- － レビューをする
 - ・ 順位が低い計画は、技術的なものも含めて弱点を明確にし、今後に活かしてもらう
- － 戦略的に絞るべき??（これまで、光赤天連内の議論が少なすぎた反省）

プロジェクト／人材の流動性をどう高められるか？実験としては、人事でプロジェクトと紐付けしない方が良い、サイエンスはどうするか？

2) 1) 以外で優先順位をつけないもの

- － 光赤天連との関係が十分に認められるもの全て
- － 分野横断計画も含む
- － 同様にレビューする?（どう使うかについても要検討）

ロードマップの形式

- 概要 (Executive Summary)
 - 科学目標と対応する計画。
 - いつまでに何を明らかにするか明示。
- 時系列 (Gantt chart形式)
 - 英語: 国際的にも使えるようにする
- 本文 (各計画の説明)
 - 日本語: 明確に記述

ロードマップの公表の範囲

- 光赤天連gopira MLとwebで公表
（公表するために作るという考え方）
- 文科省ロードマップと学術会議未来の学術振興
構想への答申
- その他、光赤天連が対外的な意思表示をする際
（研究会における運営委員／将来計画検討専門
委員などによる発表）

ご意見などインプットをぜひ将来計画検討専門委員会委員まで